

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス クレセント					公表日	令和7年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		児発と放デイで支援スペースを区切ることで、児発の子どもたちが伸び伸びとおもちゃ等で遊ぶことができる工夫がされている。	今後も安全に遊んでいただけるよう配慮し、職員が目全体に届くよう配置してまいります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		シフト作成時にチェック表と照らし合わせながら職員の配置をしている。	今後も支援が十分に行えるよう職員を配置してまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		日々、職員同士で子どもたちに分かりやすく提示するために環境整備をしようと思いつけている。	環境整備はもちろん、引き続きお子様にもわかりやすいよう掲示や装飾などにも注力してまいります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃を行っているため、また、使用していないおもちゃを片付けて怪我の無いようにしている。	おもちゃの消毒や換気、感染症対策等には今後も注力してまいります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		勉強するスペースやパニックになってしまった時に落ち着ける場所を確保するようにしている。	支援スペースと勉強スペースを視覚的に分けるなど引き続き必要に応じてお子様が過ごしやすい環境へと検討してまいります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		施設目標だけでなく、支援目標などそれぞれ意見を出し合いながら向き合うことができています。	今後も月1回の社内会議、月例会議、毎日の朝礼ミーティング等でPDCAサイクルを共有していきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様から頂いたお声を、共有し改善案を出し合って改善することができている。	今後も継続してまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼で職員同士の意見を出し合うことができています。	今後も継続してまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後の要望の声が多ければ検討して参ります。	現在は保護者様と事業所内での評価を実施しておりますが、今後ご要望の声が多い場合は職員で検討してまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要に応じてその都度研修を行いスキルアップを図ることが出来ている。	定期的に社内、社外の研修を行っております。今後も職員のスキルアップを目指してまいります。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにアップしている。	今後も適切なプログラムの作成、公表を継続してまいります。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		児童発達支援管理責任者によるアセスメントや日々の保護者とのコミュニケーションから支援計画を作成することができている。	引き続き保護者様との情報共有を目指してまいります。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員で個別支援会議に参加し、その子に合った支援を考えている。	引き続き保護者様とお子様の意見を尊重しよりよい支援計画を作成してまいります。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有された個別支援計画を基に支援をできるように日々心掛けることができています。	引き続き、職員間での共有を行い、計画に沿った支援ができるよう共通認識を行ってまいります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		終礼議事録にその日の出来事を記録し可視化することができている。	今後も継続して努めてまいります。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		相談員、保護者様と連携を取りながら児童発達支援管理責任者が個別支援計画書を作成し、それを基にお子様にあった活動内容を話し合い支援内容を設定しています。	引き続き具体的な支援内容の設定を心がけてまいります。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月、月例会議でグループミーティングを行い職員が意見を出しながら月単位で毎日の活動を作成している。	引き続きお子様に楽しんでいただける活動プログラムにできるよう努めてまいります。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月単位で作成しているため、基本活動のプログラムミックス、ダンス、こどもイベント会議を柱に前月と同じ内容にならないように工夫している。	引き続きお子様に楽しんでいただける活動プログラムにできるよう努めてまいります。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動のチャレンジ学習や集団活動のダンスなど様々な組み合わせで支援しています。	引き続き集団活動が苦手なお子様などお子様の性格や状況に応じた支援計画書を作成してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、前日の振り返りも含めてその日の活動内容、送迎確認などを行っています。	引き続き朝礼での1日の流れや、支援内容、目標設定を全職員へ共有し連携をはかってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後に各職員が管理者に伝え、ミーティングの際に改善策も含めて共有するようにしています。	終礼後共有ノートに記載するなどして共有漏れがないよう行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の日報を作成し職員で共有することで検証、改善に努めています。	今後も継続して日報の作成を行い、全職員で共有してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低6ヶ月以内で個別支援計画の見直しの際に行っているが、必要性を判断した場合には、その都度、行っています。	今後も継続して行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談員と連携を取りながら行っています。	今後も児童発達責任者や相談員と情報共有しながら継続してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談員、保護者様を含めて障害福祉、保育とも連携して支援する体制は整っています。	今後も継続して連携してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有は行おうように努めています。	定期的な情報共有の場を設けていけるよう努めて参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談員からの情報の元、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有を行っています。	相互理解を深めていけるよう努めて参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		現状では機会がないが、連携を図れるよう努力をしています。	今後、ご要望が多い場合は連携体制を構築していけるよう職員間で検討してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在は出来ていないが、交流の場を設ける努力をしています。	今後、ご要望が多い場合は交流の場を構築していけるよう職員間で検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から共通理解を深めていけるよう、情報共有を行っています。	連絡帳や送迎時などで共有させていただき、支援に繋げています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて家族支援を行っています。	今後、ご要望が多い場合はご家族参加型の研修等を構築していけるよう職員間で検討してまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学、契約の際に丁寧に解かりやすく伝えるように努めています。	引き続き丁寧な説明を行ってまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成前にヒアリングを行い保護者の意思の尊重、優先考慮の観点を踏まえて、家族の意向を確認する機会を設けています。	引き続き今後も継続してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成後に署名をもらう際に同意を得てから署名を頂いています。	引き続き支援内容の丁寧な説明を心がけてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に個別に家庭支援を実施しています。	引き続き、家族支援はもちろん何かありましたらいつでもご質問・お声がけいただけたらと思います。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今後、要望の声が多ければ検討して参ります。	今後、ご要望が多い場合は交流のできる場を構築していけるよう職員間で検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からのご相談や申し入れがあった場合には、的確に対応できるように尽力いたしております。	今後も職員間の協議体制を維持し、迅速に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		継続して社内共有させていただき、不備の無いように努めて参ります。	SNS等を活用し、定期的に情報や支援内容を発信しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		マニュアルに基づき個人情報の取扱いに十分留意している。	引き続き、十分に留意してまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		送迎時の申し送りや家族支援において、意思の疎通を図り、情報伝達にも十分に配慮しています。	今後も継続してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今後の要望の声が多ければ検討して参ります。	今後、ご要望が多い場合は地域連携の場を構築していけるよう職員間で検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、周知・掲示しています。	定期的な訓練を継続してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に地震や火事等をテーマにした防災訓練を実施しています。	お子様を交えた訓練も積極的に行ってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時にアセスメントシート、フェイスシート、救急医療情報シートなどで確認させていただいています。	今後も継続してまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認を行っています。	医師の指示書がある場合は、指示に基づいて対応いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルに基づき安全計画を作成し安全に十分留意している。	今後も継続して安全管理を行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		マニュアルに基づき安全計画を作成し安全に十分留意している。	今後も継続してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		マニュアルに基づきヒヤリハットを作成、共有し再発防止を随時検討しています。	今後も継続してまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修等を含め虐待防止に関する知識を高め適切な対応を行っています。	今後も継続して職員のスキルアップを図ってまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		マニュアルに基づき、契約時に保護者様に説明と了承をいただいています。	今後も継続してまいります。	